

私の町を中心として

——誘導保育の一案——

四日市幼稚園 小 谷 き み

私の町を中心として保育案を立てゝ見たい、こは兼ねてからの念願でありましたが、今夏倉橋先生の、御講演、保育の真諦を伺つて一層其意を強くし、今度始めて着手して見ました。

いつも私の方では九月のお祭を利用して、カマボコ板を澤山に集めまして、其板で自動車を作る豫定になつてゐます、五六名のグループで、自動車を釘で打つ時の音は、丁度大工さんが来てゐるかこ、思はれる位に盛な音がいたします。皆嬉しそうな顔で、自動車の運轉にかゝります、然し歸る頃には、先生ごこへしまつて置ませうこ、申しますのを幸に、「自動車を入れるお家を作りませうね」こいへばすかさず、信夫さんは、「先生驛の前にある様な、大きなお家

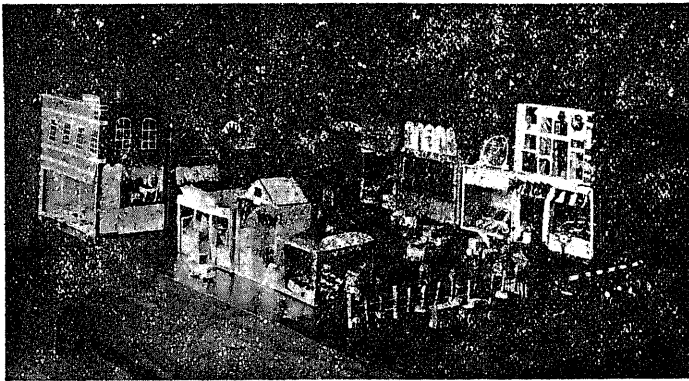
を作るこいゝなあ」(自動車會社のここ)「そうねあそこに大きな自動車のお家が有ますね」あんなの作りませうこ云へば、うれしうにうなづく。達也さんは「先生驛の前には澤山ならんでゐる、湯の山行があるし、水澤行に、諏訪行、下村行」こなかゝゝ委しく知つてゐます「それでは此お室をあのお驛の前こして、自動車のお家から、自動車の道、それにお店屋さんも作つて、お室の内を町にしませうね」こ言へば、皆手をたゝいてよろこぶ。

今から驛の前をよく見に行きませうこ云へば、皆の眼は又輝きました、然し随分交通量の烈しい場所であるため、一度に皆をつれて行く事は、一寸考へられますので、男女別に、二回に出かけました。

驛の構内、驛前の廣場、自動車會社、附近の店屋、本町
マート、菓子屋、ビルディング、踏切、遮
斷機、シグナル、など觀察して歸る。

次の日相談會が、開かれました、「昨日よく見て來ました所、さうして作りませうか」、と云へば、いつもよく創作する鈴木さんは、「先生へ僕はこうして釘打つて大きな板をはめて、ずつとこゝ引いて」、と手まねで自分の意見の發表です。自分にはもう頭の中に計畫が出来上つてゐるらしい。「先生わたしお菓子屋さん」、「わたしマート」、「わたしもマート」、「僕は汽車道」、「僕は電車道」、「先生僕切符賣る」、「僕は切符切る」清水「先生誰が切符切るの？僕したいなあ」といつて來る、かなたの方では、ウマイゾー、ミ大きくよろこびの歡聲があがる。

かくして、思ひ／＼に發表して、よろこび合ひましたが



要するに、男兒は驛の方へ、發展したそうであり、女兒は店屋の方へ發展したそうでありましたから、次の様な、プランになりました。

私の保育プラン

生活題材……………私の町

生活發展

自動車屋

ビルディング

菓子屋

魚屋

おもちゃ屋

シグナル

遮斷機

車掌の腕章

切符賣場

汽車遊び

自動車遊び

保育内容

街頭の觀察

談話

觀察

店の外形及
内容整理

窓

玩具

紙にて

お菓子

切符

果物

腕章

粘土—野菜

果物

菓子

木工—自動車

遮断機

シグナル

右の様な、プランは出来ましたが、之を週に配當して見ますこ、今後幾週間もかゝつて始めて、出来上る事になりませう。

豫定

月曜

自由畫 學校を見て

汽車の切符作り

お家作り……ビルディング(天ボール空箱)

林檎の觀察

火曜

唱歌 もみぢ

林檎籠の塗り方

水曜

自動車のエナメル塗り(塗れてゐない子)
汽車ごっこ

お家作り お菓子屋 お菓子製造

遊戲 うさぎ 其他

林檎籠の切りぬき

木曜

唱歌 もみぢ 僕等の兵隊さん
汽車ごっこ

お家作り 自動車屋 お菓子屋つつき

林檎籠の手を作る(組紙をあみて)

園藝 フレーム内の害虫検査

金曜

遊戲 うさぎ もみぢ 其他
林檎籠の仕上げ

お家作り 自動車屋つつき

土曜 汽車遊び

お家作り おもちや屋

お話 兎のお使ひ

一週間の豫定は、右の様に出来ましたが、三十八九名を思ひ／＼に遊ばせ様とする時、いつも保姆の手の足りない事を痛感したのでございます。

汽車遊びの爲に思つて、以前銀行ごつこに使つた丸窓のお家を出しましたところ、忽ちそれが、切符賣場になりました、恒幸さんはすぐ「先生切符を作るのに此箱のふた頂戴」といつて來ます、僕にも、僕にも、次から次へ厚紙は切符になります、先生鉛筆、鉛筆をいつて鉛筆が持ち出されて、早速驛名が書き込まれました、其驛名を調べて見ます、あやしげな字なりに、ナラ、オオサカ、ナゴヤ、ヨツカイチ、トキヨ（東京）、モジ、シモノセキ、サガ、なごが出来てゐます此外幼児の驛名に、ウノモリ、シンチョ、ナカマチ、なごが出来てゐます。

すぐお隣の室が、遊戲室であるのを幸に利用して、汽車道が出来ました、ヒル氏積木をレールとして、遊戲場一ぱ

い螺旋狀に、線路がしかれました。

切符賣場で、切符を買つた者は、遊戲場の入口で鉄を入れてもらつて、ブリツチを渡つて汽車に乗るのです、ブリツチに室内スベリ臺を使つた所は階段を上る所から考へたのでせう、そこを下りるにすぐ汽車道が付いてゐます、幼児自らは、汽車乗客客なので、一生懸命にシュ／＼いつて歩きます。

驛長さん 車掌さん レールを直す者、切符を賣る者、改札する者、出口掛りそれぞれに役に付きます、其うち車掌さんの聲らしく、ハツタ／＼次は皆さん、のりかへであります、ビリ／＼共に手を上るに又動きナゴヤ／＼呼び聲も、ついで、スシ、ベントウ、サンドイッチ／＼呼び聲もうまく、一廻りしては下りて又切符を買つて乗り始めます。此様に面白そうに遊んでゐるグループもあれば、又お家作りに餘念ないグループもございます、朝お顔を見るなり先生お窓切らして、先生お菓子作る、セロハンがもうありません／＼いつて來ます。

一團は汽車遊びに、一團はお家作りにお菓子作り、又一團はおさかな遊び／＼皆の興味は、はちきれぬばかりです、各

自は思ひくゝに自分の遊びに熱心なもので、そばでどんなに騒々しくても見向もせず、自己のなさんとする仕事に一生懸命である事は、私共のいつも感じさせられます。

かくして私の町を中心としての遊びは、今暫く續くこゝまでせう、お店が出来て町が出来れば、市中を自動車がかけまわつて、又一しきり遊べる事と思ひます。

本年度保育實習科卒業生

東京女子高等師範學校保育實習科は本年三月に於て左の二十四名の新卒業者を保育界に送り出さうとしてゐます。それぞれ適當の働き場に於て、斯界のためその職に熱心従事したい希望に燃えてゐます。御採用を願ひます。(倉橋生)

姓 名	出 身 學 校	生 年 月 日	姓 名	出 身 學 校	生 年 月 日
秋田 好枝	岡山縣山陽高等女學校	大正四年二月五日生	佐原 尙子	東京私立中野高等女學校	大正五年三月十二日生
天嶋 法子	靜岡縣立沼津高等女學校	明治四十五年二月二十日生	田島 つぎ	東京市立目黒高等女學校	大正五年十二月二十日生
飯田都留子	東京府立第一高等女學校	大正三年九月二十九日生	大洞多喜子	東京女子高等師範學校附屬高等女學校	大正五年一月三十日生
石田 貞子	靜岡縣濱松市立濱松高等女學校	大正五年一月二日生	中村 千代	東京府立第一高等女學校	大正四年五月十九日生
岩澤 妙	岩手縣立黒澤尻高等女學校	大正四年十月十一日生	野呂八壽子	東京府立日本女子大學附屬高等女學校	大正四年八月八日生
小野 禮	東京私立青山學院	大正四年十月二十六日生	羽生 京	靜岡縣立三島高等女學校	大正五年十月二十二日生
景山 泰江	東京府立第五高等女學校	大正三年十一月二十二日生	藤澤 敬子	東京女子高等師範學校附屬高等女學校	大正四年十二月十九日生
貴野 徳枝	東京府立第六高等女學校	大正三年九月十三日生	松田伊都子	東京府立第六高等女學校	大正四年九月二十四日生
川上 壽子	東京府立第六高等女學校	大正四年十月十六日生	滿井 ヨシ	福島縣郡山市縣立安積高等女學校	大正五年五月二十一日生
桑原 正子	東京私立跡見高等女學校	大正二年一月十五日生	森山 好子	東京府立第六高等女學校	大正二年十二月二日生
小菅 トヨ	岩手縣立花巻高等女學校	大正五年一月四日生	山本 シン	新潟縣見附高等女學校	大正五年四月二十二日生
佐藤 トシ	群馬縣富岡高等女學校	明治四十三年四月二十日生	渡邊 壽代	東京女子高等師範學校附屬高等女學校	大正二年九月十四日生